

輝け！シン尾花沢中

つたえゆかしい 校章よ おおむつましく 丘かげに

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

今号では、3年生 森谷建太さんの決意を紹介します。

3年生になって頑張りたいこと

3年 森谷建太さん

ついに最高学年であり、受験生でもある三年生になりました。より一層忙しくなる中、僕は次の3つのことを特に頑張ります。

まずは、『福原中との統合に向けた取り組み』です。今、生徒会では、来年度の統合に向けて、生徒会のメンバー同士で話し合いをしています。尾花沢中と福原中、それぞれの学校で、頑張っていることや自慢を紹介し合いました。各校の自慢は少しずつ違いますが、僕は、統合に向けて、お互いの学校で頑張っていることを、お互いの委員会活動に取り入れて、新しいスタートにつないでいきたいと考えています。



次に、『最後の部活動』です。運動部は、六月の地区中総体まで、約二カ月となりました。僕は、野球部に所属していますが、最後の総体になるので、冬の間頑張ってきた成果を発揮して、悔いの残らない試合をしたいです。ぜひとも、県大会までですすんで、少しでもチームのみんなと部活動ができる時間を増やしたいと強く思います。

そして、『受験に向けた勉強』も本格的にスタートします。三年生は、受験までの間、実力テストが7回あります。今までより、さらにテストの内容が難しくなり、出題範囲も増えるので、今のうちから受験や実力テストに向けて、計画的に勉強をし、自分の入りたい高校に入れるように頑張りたいです。

三年生は、一年生や二年生のときと違って、勉強が難しくなります。だから、自分で空いている時間を見つけて、勉強に取り組みます。その他にも、今年一年、三年生にとっては、いろいろな行事に、『最後の〇〇』というように、すべての行事が最後になってしまいます。真剣に、かつ楽しく、自分の『個性』を生かし、仲間と『協力』して行事に取り組み、『最後の一年』を『最高の一年』にしたいです。

始業式で、私は、校訓の一つ「誠実」を「何事にもまじめで、他人の心の痛みがわかる真心ある生徒」とイメージしました。そして、今年度は、「福原中学校を迎え入れる心構えを生徒一人ひとりが持てるようにしよう」とも話しました。

生徒会メンバー同士での話し合いは、まさに福原中の生徒を迎え入れる心構えを強固にするものです。話し合いを充実させることで福原中生の不安も消えていき、「一緒に頑張っていこう」というワクワクする機運が生まれるのではないのでしょうか。生徒会を核とした充実した話し合いを期待しています。

【文責：校長 工藤雅史】